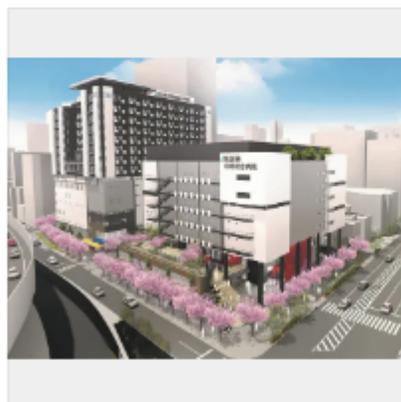


小劇場演劇の聖地「OMS」の志継ぐ 大阪・扇町に10月「ミュージアムキューブ」オープン

5/18(木) 18:37 配信



産経新聞



扇町ミュージアムキューブの外観イメージ（扇町ミュージアムキューブ準備室提供）

大阪市北区の扇町公園の向かいに10月2日、新劇場「扇町ミュージアムキューブ」が開場する。かつて関西小劇場演劇の聖地といわれ平成15年に閉館した「扇町ミュージアムスクエア（OMS）」の志を受け継ぐ劇場で、オープニング公演などの説明会が18日、大阪市内で行われた。

新劇場はOMS跡地の近くに10月にオープンする医療複合施設「i-Mall（アイモール）」の1～3階に入居する。約250席の劇場から少人数用の会議室まで、大中小10の劇場やスペースがあり、演劇やアート、音楽、映画、ワークショップなど幅広い利用を見込んでいる。

オープニング公演には、かつてOMSを本拠とした関西小劇場演劇の雄「南河内万歳一座」が登場。その後も「エイチエムピー・シアターカンパニー」や「壺劇屋」といった関西の劇団の公演や、映画上映会を企画している。

OMSとは運営主体が異なるが、小劇場演劇などの芸術文化発信拠点という志を受け継ぎ、名称を一部を継承した。

運営するシアターワークショップ代表取締役の伊東正示さんは、「OMSは演劇だけでなくさまざまな文化を創造する場だった。新しい才能を育てないと大阪独自の文化が育たない。地域の活性化と次世代の人材育成に力を入れたい」と話した。

運営するシアターワークショップ代表取締役の伊東正示さんは、「OMSは演劇だけでなくさまざまな文化を創造する場だった。新しい才能を育てないと大阪独自の文化が育たない。地域の活性化と次世代の人材育成に力を入れたい」と話した。